



ひろしま 県議会 だより

HIROSHIMA
Prefectural Assembly

発行／広島県議会
編集／広島県議会広報委員会

広島県

年4回発行

第44号

平成28(2016)年7月

6月定例会

- ◆総額95億4,200万円の補正予算を可決
- ◆本会議における質問・答弁(2面)
- ◆常任委員会の動き(3面) ◆6つの特別委員会を設置(4面)

神楽(北広島町)：北広島町をはじめ県内各地で多くの神楽団が活動しています。道の駅舞ロードIC千代田では毎月1回日曜日に神楽の公演が行われています。

六月定例会の概要 補正予算など二十一議案を可決、 同意並びに承認

広島県議会は、六月定例会を六月十三日から二十一日までの九日間の会期で開きました。

今回の定例会では「平成二十八年度広島県一般会計補正予算」や「広島県県営住宅設置、整備及び管理条例の一部を改正する条例」や「防災・減災対策の強化を求める意見書」などの議案について審議を行い、二十一議案について原案のとおり可決、同意並びに承認しました。本会議においては核兵器の廃絶、若者の政治参加、防災・減災対策、教育施策、産業振興などの県政が直面する諸課題について、六人の議員が一般質問を行いました。また、各常任委員会においては、付託された議案などについて審査・調査を行いました。最終日には、議長選挙、副議長選挙、常任委員会及び議会運営委員会の選任を行ったほか、六つの特別委員会を設置しました。

議決の状況等

平成二十八年度補正予算

可決 一般会計 一件

条例案

可決

広島県県営住宅設置、整備及び管理条例の一部を改正する条例

など十二件

人事案件

同意

広島県公安委員会委員の任命の
など二件

その他の議案

可決 承認

損害賠償の額を定めることについて
など三件

意見書案

可決

防災・減災対策の強化を求める
意見書など三件

新議長及び新副議長紹介



第65代議長 宇田伸
昭和32年2月25日生
(福山市選出)9期

平成二十八年度広島県補正予算を可決 条例の一部を改正する条例について可決

県営住宅において、若い世帯の入居機会を拡充し、自治会等の活性化を促す取り組みとして期限付き入居制度を導入するための条例改正案を可決しました。

当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、農林水産業の体质強化対策や医療・介護サービス提供体制の充実等の「地方創生」に向けた取り組みなど、総額九十五億四千二百万円の補正予算を可決しました。

新議長及び新副議長紹介



第106代副議長 高山博州
昭和28年7月1日生
(尾道市選出)5期

▼6月定例会日程 (平成28年6月13日～6月21日)

6月13日	本会議	開会、提案理由説明など
6月14日	全員委員会	提案事項の説明など
6月15、16日	本会議	一般質問など
6月17日	各常任委員会	付託議案の審査など
6月21日	本会議	委員長報告、議案の採決など、閉会

県政に関する質問から (本会議における質問・答弁)

本会議では、2日間にわたって6人の議員が一般質問を行い、県政が直面する諸課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。

紙面の都合上、1人2問ずつ掲載しています。その他の質問も、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。(4面にアドレスを記載しています。YouTubeでも録画配信しています。)



用語解説 グローバルリーダー育成校

国際社会の持続的な平和と発展を牽引できるリーダーを育成するため、国際機関等と連携したプロジェクト学習の実践などを行う全寮制の新たな中高一貫教育校。

答 五月の県教育委員会会議で大崎上島町への設置が決定されたが、二月の基本構想の策定以降、どのような調査・検討、議論を行った上で決定したのか。
議論を重ねた上で決定した。

用語解説 ダブルケア

親の介護と子育てに同時に直面する状況を指す言葉。晚産化・少子化・高齢化などの進行でダブルケアの世帯が増加していると言われ、内閣府の推計では全国で25万人にのぼる。

答 設置場所については、四市町から魅力的な提案をいたしました。選考過程では、基本構想に掲げた選定基準に関して、現地への訪問や対面での打ち合わせ等を重ね、丁寧に各候補地の状況を調査したほか、外部の有識者へのヒアリングも実施した。また、選定基準に加え、生徒の安全・安心面やアクセシビリティなどについても継続的に検討・議論を重ねた上で決定した。

用語解説 港湾計画

20年から30年先の港湾のあるべき姿を長期構想として策定した上で、10年から15年先までに取り組む内容が盛り込まれる。本年度から2年間かけて現行の港湾計画を改訂する予定。

答 これまでの検討状況について、現地への訪問や対面での打ち合わせ等を重ね、丁寧に各候補地の状況を調査したほか、外部の有識者へのヒアリングも実施した。また、選定基準に加え、生徒の安全・安心面やアクセシビリティなどについても継続的に検討・議論を重ねた上で決定した。

用語解説 合計特殊出生率

人口統計上の指標で、1人の女性が一生に産む子供の平均数を示す。女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、それぞれの出生率を出し、足し合わせたもの。

答 これまでの検討状況について、現地への訪問や対面での打ち合わせ等を重ね、丁寧に各候補地の状況を調査したほか、外部の有識者へのヒアリングも実施した。また、選定基準に加え、生徒の安全・安心面やアクセシビリティなどについても継続的に検討・議論を重ねた上で決定した。

用語解説 サービス産業

狹義のサービス業(教育、医療、広告、飲食、旅館等)のほか、情報通信、運輸、不動産、金融・保険、卸売・小売、電気・ガス・水道業を含み、県内GDPの7割(約8兆円)を占める。

答 これまでの検討状況について、現地への訪問や対面での打ち合わせ等を重ね、丁寧に各候補地の状況を調査したほか、外部の有識者へのヒアリングも実施した。また、選定基準に加え、生徒の安全・安心面やアクセシビリティなどについても継続的に検討・議論を重ねた上で決定した。

用語解説 オバマ米国大統領の広島訪問の意義と成果

知事は、現職の大統領として初となるオバマ大統領の広島訪問という大きな目標を達成したが、今回の訪問の意義及び成果をどのように考えているのか。

答 今回の訪問は、今後の米国の大統領を含む政府高官、さらには他の国々の政治指導者が被爆地を訪問する端緒となり、核兵器の非人道性への理解と、核兵器廃絶への思いを深めることにつなげることができると極めて大きな歴史的意義を持つと考える。また、核兵器のない世界の希求を世界中に強くアピールし、国際的な機運を大きく高める契機となる歴史的な成果があつたと考える。

用語解説 「ダブルケア」に対する支援

精神的・体力的な負担が大きいダブルケアによる離職などが問題となっている。県は現状をどのように認識し、男性の働き方改革を含め、どのように支援しているのか。

答 少子高齢化が進展する中、ダブルケアは女性の就業継続の大きな課題になると認識しており、多様な保育「一ツズ」への対応や介護サービスの確保に重点的に取り組んでいる。また、男性も含めた働き方改革に向けて、機運の醸成や職場環境作りなど総合的な取り組みを加速させ、男女ともに仕事と生活のどちらもあきらめることなく働ける職場づくりに取り組む。

用語解説 広島港における物流機能の強化

この度の港湾計画の改訂に当たっては、「コンテナ船等の大型化への対応など物流・産業機能の強化や、魅力的な空間形成による人流・ぎわい機能の強化などに重点を置く必要がある」と考えている。これら港湾機能を強化する施策を今後の港湾計画に位置付け、着実に整備を行うことで、広島都市圏の更なる発展に努めていく。

答 設置された場合の懸念が広島みなと公園に建設されたサッカースタジアムが、広島みなと公園にサッカースタジアムが建設された場合でも、港湾物流の確保が可能なのか。

用語解説 平和への取り組み

オバマ米国大統領の被爆地拠点としての役割を果たしたが、口座開設の促進を訴えてきたが、ロシアのブレーン大統領にも広島訪問を要請してはどうか。

答 核兵器廃絶には、政治指導者の核兵器の非人道性への認識が重要であり、広島・長崎を訪れた被爆の実相に直接触れることの実現に向け世界に大きな希望を与えられることから、今後、国・広島市などと連携を図りつつ、ロシアに対しても政治指導者の被爆地訪問を強く働きかけていきたい。

用語解説 本県の合計特殊出生率の伸び悩み

社会の実現は広島の使命であり、オバマ大統領の歴史的な期待は高まっていることから、取り組みの一層の推進に向けて、情報発信・研究集積・民間支援・人材育成・資金獲得などの機能を集積した新たな事業推進主体についてしていくのか。

答 内閣府が決定した「子供・若者育成支援推進大綱」を踏まえ、審議会委員への若者枠の新設など、若者の政治参画を促進するとともに、組織横断的な若者政策担当部署を設置してはどうか。

用語解説 国際平和拠点ひろしま構想の推進

社会の実現は広島の使命であり、オバマ大統領の歴史的な期待は高まっていることから、取り組みの一層の推進に向けて、情報発信・研究集積・民間支援・人材育成・資金獲得などの機能を集積した新たな事業推進主体についてしていくのか。

答 人口減少社会の中で、次代を担う若者世代に、県政を身近に感じてもらい、「一ツズ」や意見を施策に反映させることが重要であるため、若者世代の政策形成過程への参画に取り組む。また、若者世代に関する施策は、人づくり担当の政策監が中心となり、全府横断的に推進するとともに、若者世代へのわかりやすいアピールに努め

用語解説 授業料の引き下げ

県内のGDPや就業者の七割を上めるサービス産業の生産性向上に向けて、どのような取り組みを進めていくのか。

答 全国の大学生のうち、奨学生金を受けている人の割合は半数を超える、三百万円から四百万円の借金を抱えて卒業する。卒業して十年たつても、まだ一百万円の借金を抱え、結婚も考えられないという状況になつていて。このような状況を広島県が率先して変えていくため、県立広島大学の授業料を引き下げてはどうか。

用語解説 県立広島大学の授業料の引き下げ

企業の生産性の向上について、地域における具体的な方策を検討していく。

答 県立広島大学の授業料について、国公立大学の授業料に準じて、年間五十三万五千八百円と定めている。国の授業料標準額に準じて額を定めている公立大学が全体の九〇%を占めるところから、現状では適正な額ではないかと考えている。

用語解説 生産性向上

意見や国の政策等を踏まえ、生産性向上に向けた課題・手法等について、地域における具体的な方策を検討していく。

答 人材育成に積極的に取り組んでおり、様々なインフラ投資を行って事業内容等が多種多様で企業間の差も大きいことから、生産性向上のために更なる取り組みが必要である。このため、有識者の意見や国の政策等を踏まえ、生産性向上に向けた課題・手法等について、地域における具体的な方策を検討していく。



6月15日 一般質問（要旨）
自民議連
狭戸尾 浩議員
(大竹市)



6月15日 一般質問（要旨）
民主県政会
福知 基弘議員
(広島市西区)



6月16日 一般質問（要旨）
公明党
栗原 俊二議員
(広島市安佐南区)



6月16日 一般質問（要旨）
自民議連
窪田 泰久議員
(広島市南区)

6月15日 一般質問（要旨）

6月15日 一般質問（要旨）

6月16日 一般質問（要旨）

6月16日 一般質問（要旨）

新常任委員会の構成

最終日の本会議において、委員長、副委員長及び委員が選任されました。

6月21日
選任

常任委員会の動き

6月17日
開催

総務委員会

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案四件
その他の議決案件二件

原案可決並びに承認(全会一致)

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案六件

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案二件付託議案の審査結果
付託議案なし付託議案の審査結果
補正予算一件
その他の議決案件一件

原案可決(全会一致)

主な質疑事項

- ◆ 県から市町への事務移譲については、ノウハウ共有の支援などに取り組まれているが、市町の人才確保や育成が困難となっていることから、今後も市町の要望を踏まえた支援を検討し、実施すること。
- ◆ マイナンバーを利用する事務の追加に当たっては、番号の流出による個人情報漏れが発生することのないよう、職員への研修などの適切な措置を継続して講じていくこと。
- ◆ 県立と市町立で隣接している施設は住民サービスの向上や業務の効率化が期待できることから、一体的の管理を含め検討していくこと。

【その他】 県立文書館における展示事業等の周知など

生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案六件

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案二件付託議案の審査結果
付託議案なし

主な質疑事項

- ◆ 保育所等に従事する職員の資格要件の緩和に当たっては、保育における安全性確保や保育士の勤務環境の改善なども併せて推進していく必要があること。
- ◆ 在宅医療連携体制の確保事業については、モデル事例への支援等を強化し、本人や家族の意思を尊重した終末期医療・介護サービスが提供される取り組みを推進すること。
- ◆ 少子化対策の推進に当たっては、子育て支援全般に係る所得制限の見直しなど幅広く子育て世代を支援する制度とすること。また、先進事例の導入など積極的に取り組むこと。

【その他】 県立文書館における展示事業等の周知など

農林水産委員会

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案二件

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
付託議案なし

主な質疑事項

- ◆ 次世代林業基盤づくり事業については、林業事業体の生産性向上や規模拡大が図られるよう、今後も継続して経営の安定化を支援するとともに、県産材の競争力強化に取り組むこと。
- ◆ 農産物生産供給体制強化事業については、担い手の生産規模拡大や園芸作物の導入による経営発展を着実に推進し、農業産出額千二百億円の目標達成に向け取り組むこと。
- ◆ 県緑化センターと広島市森林公園の役割分担を明確にし、一體的に運営するメリットを最大限發揮して、新たな利用促進策やサービスの提供を検討すること。

【その他】 県立文書館における展示事業等の周知など

建設委員会

付託議案の審査結果
付託議案なし

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
補正予算一件
その他の議決案件一件

主な質疑事項

- ◆ 若い世代の県営住宅への入居機会の拡充は、地域のコミュニティの活性化が期待できることから、積極的に取り組む必要があること。
- ◆ 広島港はにぎわいの創出と物流の効率化という機能の発揮を図ろうとする中、港湾物流に支障が出ないよう取り組む必要があること。
- ◆ 广島港はにぎわいの創出と物流の効率化という機能の発揮を図ろうとする中、港湾物流に支障が出ないよう取り組む必要があること。
- ◆ 広島港の港湾計画の改訂に当たっては、サッカースタジアムの建設による影響を懸念する港湾物流関係者と十分議論を行うこと。また、港湾運営の民間化に当たっては、戦略的な運営が図られ公共性も担保できるよう、適切に指導すること。

【その他】 広島かきの更なるブランド力強化と生産現場の機械化など

文教委員会

付託議案の審査結果
付託議案なし

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案四件
その他の議決案件二件

主な質疑事項

- ◆ 府中町立府中緑ヶ丘中学校の生徒の自殺事案を踏まえ、生徒一人一人の状況を教職員が共有できるように努めることなどによって、再発防止につなげるとともに、早期に原因を発明し、公表されたこと。
- ◆ 「学びの変革」を先導する「グローバルリーダー育成校(仮称)」設置については、教育内容や開校時期等を早期に明らかにされたいこと。
- ◆ 子供の貧困対策を進めるに当たっては、教育分野に限らず、様々な支援策について検討されたいこと。

【その他】 県立文書館における展示事業等の周知など

警察・商工労働委員会

付託議案の審査結果
付託議案なし

原案可決(賛成多数)

付託議案の審査結果
補正予算一件、条例案四件
その他の議決案件二件

主な質疑事項

- ◆ 警察職員に対する指導や訓練等を徹底するなど、公務中における交通事故防止対策を着実に推進すること。
- ◆ 暴力団による抗争事件により県民に危害が及ばないよう、あらゆる対策を講じ、県民生活の安全・安心の確保に努めること。
- ◆ 広島ブランドショップの運営事業者の最高を更新しているが観光消費額の増加についても積極的に取り組むこと。
- ◆ 本県の総観光客数は四年連続で過去最高を更新しているが観光消費額の観点で、広島ブランドの価値向上や誘客促進の観点で踏まえて審査すること。
- ◆ 広島警察施設の耐震化の推進ひろしまイノベーション推進機構の今後の取り組みなど

【その他】 県立文書館における展示事業等の周知など

特別委員会の設置について

最終日の本会議において、六つの特別委員会が設置され、委員長、副委員長及び委員が選任されました。

地方創生・行財政対策特別委員会（12人）

- 地方創生・地方分権改革の推進に関する調査の件
(広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証等を含む)
- 行政経営の質的向上及び安定的な財政運営の推進に関する調査の件

委員長 小林秀矩	副委員長 田川寿一	委員 出原昌直
委員 伊藤真由美	委員 大島昭彦	委員 井原修
委員 東保幸	委員 宮政利	委員 辻恒雄
委員 岡崎哲夫	委員 平田修己	委員 林正夫
委員 城戸常太		

少子化・次世代育成対策特別委員会（10人）

- 仕事と暮らしの充実に配慮できる環境の整備及び少子化対策・子育て支援に関する調査の件
- 幼児期から大学・社会人までを見据えた多様で厚みのある人材の育成及び移住・定住の促進に関する調査の件

委員長 岩下智伸	副委員長 石橋林太郎	委員 鷹廣純
委員 山下真澄	委員 佐藤一直	委員 栗原俊二
委員 安井裕典	委員 富永健三	委員 佐々木弘司
委員 檜山俊宏		

地域魅力向上対策特別委員会（10人）

- 地域特性・資源を活用した魅力の向上に関する調査の件
- 平和構築に向けての取り組みに関する調査の件

委員長 河井案里	副委員長 増田泰久	委員 畑石顕司
委員 下西幸雄	委員 金口巖	委員 沖井純
委員 中原好治	委員 犬童英徳	委員 山崎正博
委員 城戸常太		

安心な環境づくり対策特別委員会（10人）

- 県民が安心して暮らせる地域医療介護体制及び生活環境の整備に関する調査の件
- 被災者生活再建と災害に強いまちづくりの推進に関する調査の件

委員長 日下美香	副委員長 高木昭夫	委員 平本徹
委員 西村克典	委員 狹戸尾浩	委員 桑木良典
委員 山下智之	委員 砂原克規	委員 山木靖雄
委員 松浦幸男		

産業競争力強化対策特別委員会（10人）

- イノベーションを通じた競争力の強化に関する調査の件
- 海外ビジネスを促進する基盤等の整備に関する調査の件

委員長 三好良治	副委員長 渡辺典子	委員 西本博之
委員 上田泰弘	委員 尾熊良一	委員 福知基弘
委員 森川家忠	委員 内田務	委員 中本隆志
委員 奥原信也		

議会運営委員会（六月二十一日選任）

委員長 富永健三	副委員長 金口巖	委員 渡辺典子
委員 上田泰弘	委員 宮崎康則	委員 山下真澄
委員 増田泰久	委員 下森宏昭	委員 森川家忠
委員 井原修	委員 河井案里	委員 日下美香

広域・国際観光振興対策特別委員会（10人）

- 国内外からの観光誘客の促進に関する調査の件
- 観光客の広域周遊・県内周遊及び観光消費の促進に関する調査の件

委員長 宮崎康則	副委員長 龍本実	委員 的場豊
委員 石津正啓	委員 下森宏昭	委員 緒方直之
委員 宮本新八	委員 児玉浩	委員 松岡宏道
委員 下原康充		

親子で傍聴ができます！

六月定期会から、小さなお子様と一緒に、専用の部屋から本会議の傍聴ができるようになります。

【問合せ】県議会事務局議事課
○八二一五一三一四七三三



● 本会議場の団体見学

本会議等の行事のない日は、本会議場の団体見学ができます。午前九時（午前九時～十一時半、午後一時～五時（土・日、祝日等を除く））

【問合せ】県議会事務局総務課
○八二一五一三一四七三三

● 本会議の傍聴

本会議の傍聴の際、手話通訳者を手配できます。議会棟一階の受付にお越しください。

【問合せ】県議会事務局議事課
受付／午前九時～午前九時五十名まで先着順に五十名まで

● 委員会のモニター視聴

委員会の審議状況が、議会棟一階のモニターでご覧いただけます。

受付／委員会開催の一時間前（定員三十六名（希望者多数の場合抽選）

次第、ホームページでお知らせします。

本会議、委員会の開催日時は、決定され

ターテレビでご覧いただけます。

受付／委員会開催の一時間前（定員三十六名（希望者多数の場合抽選）

本会議、委員会の開催日時は、決定され

ターテレビでご覧いただけます。